

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)日本ハーカインク株式会社海老名倉庫新築工事	階数	地上3F
建設地	海老名市中野3丁目1817番1外25筆	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火地域指定なし	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,120時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年11月 予定	評価の実施日	2020年9月30日
敷地面積	11,426 m ²	作成者	東洋建設(株)一級建築士事務所
建築面積	6,244 m ²	確認日	2020年9月30日
延床面積	6,859 m ²	確認者	東洋建設(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 74%
③上記②以外のオンサイト手法: 74%
④上記④オフサイト手法: 74%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.4

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 海老名市のJR東日本相模線門沢橋駅から徒歩15分の位置に立地し、住宅も入り混じった市街化調整区域に事務所と物流倉庫の複合用途の建物を計画した。	その他 特になし。	
Q1 室内環境 自然換気有効開口面積の大きな窓を設置している。	Q2 サービス性能 耐用年数高い給排水配管材料を使用している。空間の形状・自由さの大きなレイアウトの設計としている。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし。
LR1 エネルギー BPI _m =0.89, BEI _m =0.51。	LR2 資源・マテリアル 発泡剤を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 「ライフサイクルCO ₂ 排出率=74%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される